

1 趣旨

飼料増産運動や自給飼料関係施策の地域農家等への周知徹底と、行政、関係団体が自給飼料の増産計画に基づき地域の畜産振興を確実なものにするため、飼料増産重点地区登録を目指す地域に対して、登録に向けた研修会の開催等を実施し重点地区の登録拡大を図る。

2 実施地区

(1) 対象地区

都道府県の飼料増産行動計画に即し、都道府県、市町村、J A 等による指導や補助事業等による支援等が重点的に行われると見込まれる地区。

(2) 地区の範囲

地区の範囲は、市町村、J A、生産集団。

(3) 取組み区分は次のとおり

稲発酵粗飼料の増産

国産稲わらの利用拡大

放牧の推進

草地の更新やトウモロコシ作付等による単収向上

コントラクターの活用

消費者に対する理解・醸成

その他

3 実施期間

事業開始 2 1 年 4 月 1 日から平成 2 2 年 3 月 3 1 日

4 支援事業の内容

当協会は、重点地区の登録を助長するための、専門家による現地技術指導、研修会への講師の派遣等を行います。

5 事業の実施

専門家による現地技術指導を実施しようとしている地区は、別紙様式 1 により飼料増産地区化支援現地技術指導申込書を当協会に提出していただきます。

専門家による研修会を実施しようとしている地区は、別紙様式 2 により飼料増産地区化支援研修会申込書を当協会に提出していただきます。

提出された申込書の内容審査し、支援内容を決定します。

6 経費

研修会の開催等本事業実施に要する経費は本協会が負担します。
(協会が負担する経費の区分と単価、数量には制限があります。)

7 現地技術指導・研修会の内容

2の(3)に掲げる項目

当協会は、本事業を円滑に推進するため農林水産省、都道府県、市町村と連携しながら実施します。

飼料増産地区化支援現地技術指導申込書

番 号
年月日

社団法人日本草地畜産種子協会
会長 信國 卓史 殿

住 所
事業実施者名称
代表者氏名

平成 2 1 年度飼料増産重点地区登録の準備を行うため、現地技術指導を希望するので
専門家の派遣を御願ひ致します。

記

1 重点地区登録予定計画の概要

(飼料増産の内容・実施体制・将来構想等)

2 事業内容

(開催しようとする具体的な内容、例えば稲発酵粗飼料に関する現地技術指導等)

3 派遣予定年月日

第一希望：平成 年 月 日 時 ~ 時

第二希望：平成 年 月 日 時 ~ 時

(参考のために希望する専門家がありましたら記入して下さい)

氏 名

専 門 分 野

所 属 役 職 等

4 必要経費積算

項目	単価	数量	金額	算出根拠
				単価・数量等の積算基礎

5 技術指導参加予定者数

6 本件に関する連絡窓口

氏名

住所

電話・FAX・Eメール等

7 その他

飼料増産予定地等がわかる位置図

(市町村図等適宜、合併市町村の場合は合併前旧市町村図で可)

(社)日本草地畜産種子協会 早坂 好

〒 101 - 0035 東京都千代田区神田紺屋町8

TEL 03 - 3251 - 6501

FAX 03 - 3251 - 6507

Eメール hayasaka@souti-fsa.or.jp

飼料増産地区化支援現地研修会申込書

番 号
年月日

社団法人日本草地畜産種子協会
会長 信國 卓史 殿

住 所
事業実施者名称
代表者氏名

平成 21 年度飼料増産重点地区登録の準備を行うため、現地研修会を希望するので専門家の派遣を御願い致します。

記

1 重点地区登録予定計画の概要

(飼料増産の内容・実施体制・将来構想等)

2 事業内容

(開催しようとする具体的な内容、例えば稲発酵粗飼料に関する現地技術指導等)

3 派遣予定年月日

第一希望：平成 年 月 日 時～ 時

第二希望：平成 年 月 日 時～ 時

(参考のために希望する専門家がありましたら記入して下さい)

氏 名

専 門 分 野

所 属 役 職 等

4 必要経費積算

項目	単価	数量	金額	算出根拠
				単価・数量等の積算基礎

5 参加予定者数

6 本件に関する連絡窓口

氏名

住所

電話・FAX・Eメール等

7 その他

飼料増産予定地等がわかる位置図

(市町村図等適宜、合併市町村の場合は合併前旧市町村図で可)

(社)日本草地畜産種子協会 早坂 好
〒 101 - 0035 東京都千代田区神田紺屋町8
TEL 03 - 3251 - 6501
FAX 03 - 3251 - 6507
Eメール hayasaka@souti-fsa.or.jp

協会が負担する経費の内訳

個別現地指導

旅費（専門家・事務局）

謝金（専門家）

資料作成費

現地研修会

事前に必要な部分

講師等旅費（委員・事務局）

講師謝金（委員）

原稿料（当日配付資料）

資料作成費（テキスト・パンフレット等当日配付資料印刷経費）

通信運搬費

消耗品費

現地（会場等）で必要な部分

- 1 会場借料（屋内研修会）（会場一ヶ所あたり上限価格あります）
- 2 会議費（屋内研修会・参加人員分）（参加一人あたり上限単価あります）
借料・損料（研修会等で使用する機器材 例事務用品・レンタル農機）
バス借上げ料（現地移動用）

注意 1 当協会が全額負担致します。ので、各申込書 4 の必要経費積算欄の数量欄のみ記入して下さい。例えばテキスト必要部数（参加人員数 + ）

- 注意 2
- 1 上限価格は 10,000 円が限度額です。
 - 2 上限単価は一人あたり 300 円が限度額です。

4 必要経費積算（記入例）

項目	単価	数量	金額	算出根拠
講師等旅費		3人		講師2名・事務局1名
テキスト		110部		参加予定100名
会場代	8,000	1ヶ所	8,000	J A 会議室使用料
会議費	100	100人	10,000	A コープ見積り結果
バス借上げ	50,000	1台	50,000	交通見積り結果
農機借料	10,000	1台	10,000	J A 見積り結果
通信運搬費	1,000	2ヶ月	2,000	町使用実績
消耗品費	1,000	2ヶ月	2,000	町使用実績
計			82,000	講師等旅費及びテキスト除く

参考として、各料金表や見積書のコピーを添付して下さい。